

2024年度 AOTS 研修プログラム

技能人材にフォーカスした「就労者に対する日本語教師初任研修」

募集要項

AOTS はこれまで技術研修生、EPA 看護師介護福祉士候補者、技能実習生、特定技能人材といった「技能人材」向けの日本語教育を長きにわたり実施してきました。その積み上げてきた経験を「教師研修」というかたちで広く皆様に共有いたします。

昨今の日本では、労働力減少や人手不足に伴い、働く外国人の存在がますます重要になる中、就労者に特化した日本語教育とその周辺環境整備の必要性がこれまで以上に高まっています。日本語教師の皆様には本研修を通して「これからの時代に必要な日本語教育」を学び、働く外国人に対する日本語教育の担い手として広く活躍することが期待されます。

1. 本研修プログラムについて

「就労者」と言ってもその背景や状況は多種多様であるため、本研修プログラムでは、研修内容をより具体的かつ実践的にするため、技能人材（技術研修生、EPA 看護師介護福祉士候補者、技能実習生、特定技能といった国内の就労や研修の「現場」で日本人と共に働く外国人）にフォーカスし、いわば貴重な「労働力」とされる外国人にとって本当に必要な日本語教育を「知り」、「考え」、「学び」、「実践できるようになる」ための研修プログラムです。

社会的ニーズの増加に伴い、「就労者向け日本語教育」にすでに携わっている／携わる予定／携わりたいという日本語教師も増えている一方で、「何に気をつけて、どのように教えればよいのか分からない」といった声も多く聞かれるのが現状です。そのような声に対して、本研修では、「日本語教育」という枠組みの中だけでは見えてこない技能人材に対する日本語教育の背景や実態を学び、その上で「実践的な日本語指導能力」と「コースデザイン能力」の習得を目指します。

2. 本研修プログラムの概要 ※詳細は P.2 以降参照

- 1) 研修プログラム期間：2024年8月31日(土)～2024年12月7日(土)
- 2) 時間：土曜日 am9:00～pm12:30 (45分×4コマ) ※一部、3コマのみの回もあり
- 3) 全プログラム オンラインで実施
- 4) オンデマンド動画の事前視聴あり
- 5) 主な研修内容
 - ・背景となる政策や制度、来日／就労要件を知る
 - ・就労外国人の置かれた状況や日本語教師の役割を多角的に捉える
 - ・企業担当者や就労外国人の「現場」からの声を聞く
 - ・効果的な教授法やアプローチ、教材リソースの活用方法を習得する
 - ・企業との連携を意識した評価や報告書の作成を学ぶ
 - ・上記を包括的に捉え、就労外国人のニーズに対応できる日本語研修コースをデザインする
- 6) 主な対象者：「就労者向けの日本語教育歴」が0～3年程度の現職日本語教師
- 7) 定員：100名
- 8) 受講料：4,400円(税込)
- 9) お申込：<https://forms.office.com/r/dtaTJ0edqv>

3. 本研修プログラムについて

1) 到達目標

- ①技能人材を取り巻く制度や社会の実情、産業界のニーズを理解することができる。
- ②職場で生じる言語・文化的な問題を理解し、技能人材や企業に寄り添うことができる。
- ③業務遂行のための日本語教育を実践するために必要な情報を自ら収集し、それを活用できる。
- ④技能人材や企業のニーズに応じたコースデザインを行うことができる。
- ⑤技能人材や企業に対して日本語教育の必要性や学習成果等をわかりやすく伝えることができる。

2) 研修プログラム期間・日程・時間帯

		日程			時間帯	テーマ
2 0 2 4 年	8月	①	8月31日	(土)	am9:00~11:35	就労外国人の背景となる政策や制度、来日/就労要件を知る
	9月	②	9月7日	(土)	am9:00~11:35	就労外国人やその日本語教育についての現状を多角的な観点から知る
		③	9月14日	(土)	am9:00~12:30	
		④	9月21日	(土)	am9:00~11:35	
		⑤	9月28日	(土)	am9:00~12:30	
	10月	⑥	10月5日	(土)	am9:00~12:30	就労外国人向け日本語教育の指導法や教材リソースの活用方法を学ぶ
		⑦	10月19日	(土)	am9:00~12:30	企業や施設との連携を意識した評価や報告書作成について学ぶ
		⑧	10月26日	(土)	am9:00~12:30	就労外国人のニーズに対応できる日本語研修コースをデザインする(演習)
	11月	⑨	11月9日	(土)	am9:00~12:30	
		⑩	11月23日	(土)	am9:00~12:30	
	12月	⑪	11月30日	(土)	am9:00~12:30	
		⑫	12月7日	(土)	am9:00~10:40	研修の振り返り、まとめ

※1 限目 9:00~9:45、2 限目 9:55~10:40、3 限目 10:50~11:35、4 限目 11:45-12:30

※各回 45分×最大4コマで、各コマ間に10分間の休憩があります。

※10月12日(土)、11月2日(土)、11月16日(土)は休みの予定です。

※コースデザイン演習はグループに分かれて他受講者と協働学習します。

※プログラムの各科目一覧・内容、時間割については、p.5以降の別表1及び2をご参照ください。

3) 受講形態

- ・全プログラム オンラインで実施 ※集合研修等の対面での実施はございません。
- ・当日講義出席までに視聴しておくオンデマンド動画あり

4) 受講料：4,400円(税込) ※別途、教材費

5) 使用教材

- ・配布教材：各科目の配布資料、スライド等
- ・市販教材：計4,000円程度(受講確定後、以下①~③を各自ご購入手配いただきます)
 - ①『ゲンバの日本語 基礎編 働く外国人のための日本語コミュニケーション』
 - ②『あたらしいじっせんにほんご -技能実習編-』
 - ③『国際交流基金 日本語教授法シリーズ第1巻 日本語教師の役割/コースデザイン』

6) 応募資格：

(1) 日本語教師として下記のいずれかの要件を満たす方（必須）

- ①大学/大学院で日本語教育に関する教育課程を修了し、大学/大学院を卒業/修了した方
- ②大学/大学院で日本語教育に関する科目の単位を 26 単位以上修得し、大学/大学院を卒業/修了した方
- ③公益財団法人日本国際教育支援協会「日本語教育能力検定試験」に合格した方
- ④学士の学位を有し、日本語教師養成講座 420 単位時間以上を修了した方

(2) 原則として「就労者に対する日本語教育歴」が 0～3 年程度の方

※就労者に対する日本語教育歴が 4 年以上の場合でも、研修プログラム内容がご自身にとって妥当とご判断される場合は申し込みいただけます。その場合、研修プログラム内のグループ活動や演習等において、知識や経験を他受講者の方々に共有したり、リーダーシップをとっていただくことが期待されます。

(3) 今後、長期にわたり就労者に対する日本語教育に携わろうという意志のある方

(4) 原則として 10/26～11/30 のコースデザイン演習の全日程に参加できる方

応募者数が定員を上回った場合、上記の応募資格の鑑み、申込時の提出内容も含め選考を行います。選考結果は 7 月中に申込者全員に受講可否を通知します。

7) 受講条件

(1) 本研修プログラムでは Microsoft office や Zoom、Google ドライブやスプレッドシート、Padlet や LMS を使用しますので、基本的な ICT スキルがある前提で講義等を進めます。

(2) Google アカウントをお持ちでない方は受講開始までに取得ください。

(3) 心構えとして、本研修プログラムの受講にあたっては、講師や他の受講者の考えや意見を尊重し、他者への配慮や協調性をもってプログラムにご参加ください。他の受講者、講師、主催団体等に対する誹謗中傷等のモラルやマナーに違反する行為や研修の進行を妨げる行為があった場合は受講を辞退していただく場合があります。

8) 修了要件

(1) 事前動画視聴を含む全プログラムの 2/3 以上に出席していること、且つ、コースデザイン演習においては当該科目の全体の 2/3 以上に出席していること。

(2) 事務局が定めた課題・成果物をすべて提出すること。

(3) AOTS が定めた到達目標において一定基準以上の評価に到達すること。

※本研修プログラムの修了者には AOTS より PDF データの修了証書を発行いたします。同修了証書を有することで、日本語教師としての経歴として履歴書に記載することができ、個人にとっても、所属する教育機関にとっても教育能力保証の一端となり得ます。また、希望される方のみ、文部科学省 HP の修了者リストに名前が掲載されます。

9) 定員：100 名

・オンラインのため全国各地域から申しいただけます。

・上記「6. 応募資格」の(1)～(4)を満たしていれば海外からの申込みいただけますが、受講料の銀行振込及び指定教材の各自購入手配が可能な場合に限りです。

10) 募集期間・申込受付期間：

2024 年 6 月 1 日～6 月 30 日（予定）

※申込状況により受付期間の見直しや早期締め切りの場合がありますのでお早めに申してください。

※応募者数が定員を上回った場合は、申込時に提出いただいた内容をもとに事務局にて受講者選考を行います。申し込んでも受講いただけない場合がございますこと予めご了承ください。

4. お申込はこちらから：

受講の申込は以下のフォームからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/dtaTJ0edqv>



※申込みフォームを送信いただきましたら、確認のための自動応答メールが各申込者に届きます。自動応答メールが無い場合、申込みができていない可能性がありますので事務局までお問い合わせください。

※受講決定通知は7月上旬までに各申込者にご連絡予定です。受講いただけない場合もその旨ご連絡します。

※受講料の支払方法や支払期限、受講方法の詳細手順は、受講決定者に別途ご連絡いたします。

5. 受講にあたってご準備いただく設備・環境

オンラインでの当日講義はWEB会議システム「Zoom」を使用して実施します。<https://zoom.us/>

(1) 利用端末 (PC、スマートフォン・タブレットなど)

受講者側もカメラ・マイクにより発信する必要がありますのでご注意ください。

また、オンライン接続により電池消耗が早くなりますので、充電しながらの受講を推奨します。

(2) 安定したインターネット通信環境

高速通信が可能な電波の良い所でご視聴ください。データ量によって通信制限がかかるネットワーク環境のご利用は推奨しません。

(3) 接続テスト

Zoomを初めてご利用される方は、あらかじめアプリをインストールし、動作・環境をご確認ください。参考：<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083>

(4) その他：受講者による本研修の録画・録音は禁止されています。

6. 問い合わせ先

一般財団法人 海外産業人材育成協会(AOTS)

グローバル事業部 日本語教育センター

担当：常次(つねつぐ)、杉山

〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1

Tel: 03-3888-8250 e-mail: jt-training@aots.jp

お問合せフォームは[こちら](#)から

※本事業について

本事業は文部科学省の委託事業として、文化審議会国語分科会によって取りまとめられた「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改定版」(平成31年3月)で示されている日本語教育人材に求められる資質・能力を身に付けるための研修プログラムを実施し、同報告の円滑な普及を促すとともに、日本語教育人材の資質・能力の向上を図ることを目的とした事業です。今年度、AOTSは「就労」分野において、昨年度に引き続き事業実施者として委託されました。

※一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)について

AOTSは、1959年の創立以来、主に開発途上国の産業人材を対象とした研修(日本語研修含む)および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関として活動しています。AOTSの日本語教育に関する内容は[こちら](#)からご覧いただけます。

以上

技能人材*にフォーカスした「就労者に対する日本語教師初任研修」
AOTS 研修プログラム科目一覧

※以下の情報は一部変更の可能性もございます。

日程・時間	科目名	講師/所属等	研修目的・内容
8/31(土) am9:00- pm11:35	オリエンテーション	AOTS 教師研修事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(日程、研修科目、受講方法、提出物、修了要件等) ・研修受講前における就労者に対する日本語教師に求められる資質・能力についての自己評価を行う。
	就労者に対する日本語教育概論	杉山 充 AOTS 日本語教育センター センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者の多様性とその日本語教育の特徴・重点課題を理解する。 ・AOTS の研修を例に各自の日本語教育に携わる立場や役割をイメージする。
	外国人の受け入れ政策と日本語教師	神吉 宇一 武蔵野大学 教授	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人材受入れに関する法律や政策、背景となる日本の社会状況に目を向ける。 ・就労者に対する日本語教育を行う日本語教師・日本語教育関係者としての役割を多角的かつ具体的に考える。
9/7(土) am9:00- pm11:35	職種・職位によって求められる日本語教育 -制度における日本語能力要件-	杉山 充 AOTS 日本語教育センター センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・技能実習生や特定技能外国人材が日本で働きキャリアを形成する際に制度上求められる日本語能力要件や企業側が講じる日本語学習の支援について理解する。 ・就労者が受験する日本語能力を測る試験や技能を測る試験の概要、試験サンプルや学習リソースへのアクセス方法を理解した上で、日本語教師に何が期待されるか考える。
	外国人就労者に関わる制度	折茂 純哉 ACROSEED 行政書士 マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人就労者の制度の基礎知識(在留資格・条件、労働関連法など)を理解する。 ・外国人就労者受け入れ制度の課題、外国人就労者受け入れ企業で生じている問題(メンタルヘルス・海外との社会保障制度の違い等)について知る。
9/14(土) am9:00- pm12:30	生活・就労者の日本語教育 -地域日本語教室で学ぶ技能人材-	萬浪 絵理 千葉市国際交流協会委嘱 千葉市地域日本語教育推進事業 総括コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者の「生活者」としての側面に対して必要な日本語教育の理解を深める。 ・地域日本語教室の事例をもとに、地域日本語教育は技能人材をはじめとする就労者にとってどのような役割や意味があるのかを考える。
	生活・就労者の日本語教材 -『いろいろ』生活の日本語』を例に-	笠井 陽介 国際交流基金 関西国際センター 日本語教育専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・在留資格「特定技能」等で来日する就労者が日本での生活場面で求められる基礎的な日本語コミュニケーション力を養成するための教材『いろいろ』生活の日本語』の構成や活用方法を理解する。
	就労者に対する日本語教育実践現場 -同研修プログラム修了者による発表-	同研修プログラム修了者	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者に対する日本語教育の実践現場での取り組みや工夫、課題や問題を知る。 ・修了者が本研修プログラムで学んだことをどのように活かしているかを知ることで、研修の活用方法をイメージする。
	意見交換交流会	受講者間	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数グループに分かれて修了者プレゼンの感想を伝え合うとともに、自身の日本語教育実践での取り組みや課題を紹介する。 ・研修プログラム途中における振り返りを受講者間で行う。

9/21(土) am9:00- pm11:35	就労現場における異文化受容・異文化適応	近藤彩 昭和女子大学 教授 同大学 日本語教育センター長 同大学院 文学研究科 研究科長	・異文化接触における個人及び集団への影響や異文化受容態度について理解する。 ・就労外国人の職場で生じるトラブルの具体例を知り、支援の方向性について考える。
	職種別の日本語の指導法 ーウェブ教材/アプリ「げんばのにほんご」(外国人技能実習機構)を例にー	飯塚知子 AOTS 日本語教育センター	・ウェブ/アプリ教材「げんばのにほんご」(外国人技能実習機構)に実際にアクセスし、同教材の構成や特徴について理解する。 ・講義やグループディスカッションを通して同教材の具体的かつ効果的な指導法について考えを深める。
	技能人材と語彙学習 ーどんな言葉の学習が必要か考えるー	飯塚知子 AOTS 日本語教育センター	・技能人材が就労するうえで必要となる言葉の特徴、既存の語彙教材を知る。 ・既存の語彙教材を用いた指導方法・学習方法を知り、自身の活動や自律学習支援に役立てられるようにする。
	現場の企業担当者・外国人就労者の声を聞く①・②	①ミドリ久慈衣料株式会社 ②五島工業株式会社	・外国人就労者の受入企業の日本人担当者の語りを聞き、外国人材の受入れに至った経緯や目的、日本語の必要性やそのレベル、外国人受入れにかかる取り組みや問題について知り、日本語教師としてできることを考える。 ・企業にて就労する技能実習生を事例として、来日経緯や目的、就労現場での業務内容や問題、必要となる日本語や日本人とのコミュニケーションで気を付けていることや生じたトラブルを知り、就労者に対して必要な日本語教育の内容や接し方を考える。
9/28(土) am9:00- pm12:30	【事例研究】外国人介護人材の就労と日本語教育	白井孝子 東京福祉専門学校 副学校長	・外国人介護人材の受入れに関する社会背景や制度、介護福祉士の資格や在留資格、業務内容について理解する。 ・介護施設の利用者やそこでの一日の生活、介護知識・技術について知り、日本人職員とのコミュニケーション場面において求められる日本語能力について理解した上で、介護職種を事例に職種別日本語教育をどのように実践するか考える。
	【事例研究】介護人材向けの専門日本語教育 ー介護の就労者向けウェブ教材「にほんごをまなぼう」を例にー	小林亨 日本介護福祉士会 国際介護人材支援 主査	・ウェブサイト「にほんごをまなぼう」に実際にアクセスし、同教材の対象者、構成、内容、種別(外国人向け学習コンテンツ・日本人向け手引き)を理解する。 ・外国人介護人材向けのカリキュラムやコースデザインを作成する際に、同ウェブサイトを教材リソースとして効果的に活用する方法を考える。
	就労者に対する日本語教育実践現場 -同研修プログラム修了者による発表-	同研修プログラム修了者	・就労者に対する日本語教育の実践現場での取り組みや工夫、課題や問題を知る。 ・修了者が本研修プログラムで学んだことをどのように活かしているかを知ること、研修の活用方法をイメージする。
	意見交換交流会	受講者間	・少人数グループに分かれて修了者プレゼンの感想を伝え合うとともに、自身の日本語教育実践での取り組みや課題を紹介する。 ・研修プログラム途中における振り返りを受講者間で行う。

	現場の介護施設担当者・外国人介護人材の声を聞く①・②	①社会福祉法人 旭福社会 特別養護老人ホームやすらぎ園 ②健祥会グループ	・外国人介護人材の受入施設の日本人担当者の語りを聞き、外国人材の受入れに至った経緯や目的、日本語の必要性やそのレベル、外国人受入れにかかる取り組みや問題について知り、日本語教師としてできることを考える。 ・介護施設にて就労する外国人介護人材を事例として、来日経緯や目的、就労現場での業務内容や問題、必要となる日本語や日本人とのコミュニケーションで気を付けていることや生じたトラブルを知り、就労者に対して必要な日本語教育の内容や接し方を考える。
10/5(土) am9:00- pm12:30	技能実習・特定技能のための仕事・生活の日本語教育 -教材『あたらしいじっせんにほんご』を例に-	新野佳子 国際日本語普及協会(AJALT)	・教材『あたらしいじっせんにほんご』を実際に手に取り、同教材の構成や特徴、教え方について理解し、就労者に対する指導法の一つとして同教材の活用方法を理解する。 ・グループディスカッションを通して就労者に対する日本語教授法について考えを深める。
	就労現場でのコミュニケーション能力を高めるための指導法 -教材『ゲンバの日本語』を例に-	内海陽子 AOTS 日本語教育センター 主任	・教材『ゲンバの日本語』を実際に手に取り、同教材の対象者と教材の概要と特長、構成について理解する。 ・AOTS の技術研修生向けの日本語教育を例として、コミュニケーション能力を高める指導方法、教材活用を理解する。 ・教材理念に基づく対学習者・教師間の対応について考えを深める。 ・実際に指導する際の留意点について考え、同教材の効果的な指導法の理解を深める。
	技能人材と会話学習 -コミュニケーションストラテジーが学べる会話を考える-	飯塚知子 AOTS 日本語教育センター	・技能人材が就労現場で必要とされる日本語や日本人社員とのコミュニケーションの特徴を理解した上で、どんなコミュニケーションストラテジーが必要かを考える。 ・就労現場で必要なコミュニケーションストラテジーを探すことができ、会話を教える際に取り入れることができるようになる。 ・コミュニケーションストラテジーを意識した会話学習のための学習活動デザインの考えを深める。
	コミュニケーション能力を養成する短期速習の教授法 -AOTS での技術研修生向け日本語研修をモデルにして-	矢島康江 AOTS 東京研修センター 日本語コーディネーター	・就労現場で求められるコミュニケーション能力とは何かを知り、その能力を短期間で養成するための指導のポイントを AOTS の実践例を通して学ぶ。 ・本科目で学んだ「話す力・聞く力を短期間で伸ばす指導法」を受講者各自の教育現場でどのように応用し実践できるかを考える。
10/19 (土) am9:00- pm12:30	就労者に対する自律学習支援とスローラーナーへの対応 -AOTS での技術研修生や EPA 候補者への実践を事例にして-	常次亨介 AOTS 日本語教育センター センター長補佐	・就労者向け日本語教育における自律学習支援の必要性を理解し、AOTS の事例をもとに自身の教育実践でどのような支援ができるかを考える。 ・AOTS の日本語研修を事例に、日本語学習に困難を抱える就労者の状況を理解し、スローラーナーへの対応や支援を考える。
	就労者の日本語学習に対する評価 -行動能力目標とパフォーマンス評価-	内海陽子 AOTS 日本語教育センター 主任	・「日本語教育の参照枠」及び「就労 Cando」について理解を深めた上で、それを就労者に対する日本語教育に応用する方法について AOTS の事例を通して理解する。

			<ul style="list-style-type: none"> ・就労現場で必要な行動能力目標とそれに対応するパフォーマンス試験を行うにあたり、それぞれの就労現場に即した試験の実施に関する検討・計画についての考えを深める。
	企業に伝わる報告書作成	矢島康江 AOTS 東京研修センター 日本語コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育を専門としない企業や職場関係者に、就労者の日本語学習状況や学習の成果、継続学習のアドバイスとして何を伝えるか、どうすれば伝わるかを理解する。 ・クライアントが理解できる報告ができるようになるため、報告書サンプルをもとに日本語教育の専門用語を非専門家にも理解できる言い換え・書き換えの修正練習に取り組む。
10/26(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習 (導入)	澤田幸子 合同会社おおぞら日本語サポート 副代表	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修の演習で就労者に対する日本語教育コースデザインを作成するために必要なニーズ及びレディネスの分析・検討、目標設定などの基礎知識や重点課題、注意点を理解する。 ・本研修の各科目で学んだ知識及び技能をコースデザインに応用する意識を高める。
	技能人材向けのコースデザイン 演習	澤田幸子 合同会社おおぞら日本語サポート 副代表	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修の各科目で得られた基礎知識や指導法、教材リソース等の内容を応用し、ある就労者を想定したコースデザイン作成の活動を通して、実際に技能人材への日本語教育内容や評価・フィードバック方法、シラバス・カリキュラムデザインを検討する。
11/9(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習	小谷昌彦 合同会社おおぞら日本語サポート 代表社員	
11/23(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習	澤田竜人 ECC 国際外語専門学校 留学生事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表 ・他の受講者との協働を通して多様な日本語教育観に触れ、自身の日本語教育観や教育実践を内省し発展させる。
11/30(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習 (発表)	副学科長兼教務課・進路課責任者 高馬絢子 ISI ランゲージスクール京都校	
12/7(土) am9:00- pm10:40	研修の振り返り、ネットワークづくり	杉山充 AOTS 日本語教育センター センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講を通して得られた自身の学びを振り返り、それを受講者間で共有することで学びを再構成する。 ・今後、就労者に対する日本語教育に携わる上で、どのような学びが必要かを考える。 ・研修受講後における就労者に対する日本語教師に求められる資質・能力について自己評価を行う。 ・研修終了後も受講者間のネットワークを維持し、講師間のつながりの中で学び続けることの重要性を理解する。

*本研修プログラムでは、技能実習、特定技能、特定活動(EPA 候補者等)、技術研修生などの外国人就労者を「技能人材」と呼びます。

AOTS研修プログラム日程・時間割

※受講にあたっての注意点

1) 研修の形態	・この研修は、事前課題の動画視聴、オンライン講義、オンライン演習を組み合わせ実施します。
2) 事前課題の動画視聴	・オンライン講義の当日時間までに必ず視聴してください。動画視聴は修了要件に含まれます。 ・オンライン講義は受講者の皆様の動画視聴を前提に進めます。 例えば、9/7(土)講義3「職種・職位によって求められる日本語教育」では、9:00~9:45の時間帯で講師がZoomによるオンライン講義を実施します。 このオンラインライブ講義の時間帯に動画視聴の時間はありませんので、前日までに動画視聴をしておいてください。 ・各動画時間は目安です。各科目の動画によって分数は異なります。
3) 同期時間とは	・「同期時間」とはZoomでビデオ会議に参加している状態です。講義の聴講やディスカッション、課題の取り組みやグループで演習等の活動に取り組んでいただきます。

● 事前視聴動画あり

● 同期時間(オンライン)あり

		1限: 9:00~9:45	2限: 9:55~10:40	3限: 10:50~11:35	4限: 11:45~12:30	プログラム時間外
8/31 (土)	事前課題	なし		事前課題 動画視聴 45分程度 ●		
	同期時間	オンライン講義 ●		同期時間 オンライン講義 ●		
		講義1(オリエンテーション含む) 就労者に対する日本語教育概論 杉山 充		講義2 外国人受け入れ政策と日本語教師 神吉 宇一		
9/7 (土)	事前課題	動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●			
	同期時間	オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●			
		講義3 職種・職位によって求められる日本語教育 一制度における日本語能力要件 杉山 充		講義4 外国人就労者に関わる制度 折茂 純哉		(事務局Q&A)
9/14 (土)	事前課題	動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●	事前課題 なし	事前課題 なし	
	同期時間	オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン交流 ●	
		講義5 生活・就労者の日本語教育 一地域日本語教室で学ぶ技能人材 一 風浪 絵理		講義6 生活・就労者の日本語教材 -『いろどり 生活の日本語』を例に- 笠井 陽介		企画1(講義8) 意見交換交流会
9/21 (土)	事前課題	動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●		動画視聴のみ ●
	同期時間	オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●		同期時間 なし
		講義9 就労現場における異文化受容・異文化適応 近藤 彩		講義10 職種別の日本語の指導法 -ウェブ教材/アプリ「げんばのほんご」(外国人 技能実習機構)を例に- 飯塚 知子		動画1(講義12) 現場の企業担当者・外国人就労 者の声を聞く(各45分) ①ミドリ久慈衣料株式会社 ②五島工業株式会社
9/28 (土)	事前課題	動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●	事前課題 なし	事前課題 なし	動画視聴のみ ●
	同期時間	オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン交流 ●	同期時間 なし
		講義13 【事例研究】外国人介護人材の就労と日本語教育 白井 孝子		講義14 【事例研究】介護人材向けの専門日本語教育 -介護の就労者向けウェブ教材「にほんごをまな ぼう」を例に- 小林 亨		企画2(講義16) 意見交換交流会
10/5 (土)	事前課題	動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●	
	同期時間	オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	
		講義18 技能実習・特定技能のための仕事・生活の日本語 教育-教材『あたらしいじっせんにほんご』を例 に- 新野 佳子		講義19 就労現場でのコミュニケーション能力を高めるた めの指導法-教材『ゲンバの日本語』を例に- 内海 陽子		講義20 技能人材と会話学習 -コミュニケーションストラテジーが学べる会話を 考える- 飯塚 知子
10/12 (土) プログラムなし						
10/19 (土)	事前課題	動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●	事前課題 動画視聴 45分程度 ●		
	同期時間	オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●	同期時間 オンライン講義 ●		
		講義22 就労者に対する自律学習支援とスローラーナー への対応 -AOTSでの技術研修生やEPA候補 者への実践を事例にして- 常次 亨介		講義23 就労者の日本語学習に対する評価 -行動能力目標とパフォーマンス評価- 内海 陽子		(事務局Q&A)
10/26 (土)	事前課題	別途指示あり		事前課題 別途指示あり		
	同期時間	オンライン講義 ●		同期時間 オンライン演習 ●		
		演習1(講義25) 技能人材向けのコースデザイン(導入(講義形式)) 澤田 幸子		演習2 技能人材向けのコースデザイン 澤田 幸子、小谷昌彦、澤田 竜人、高馬 純子		
11/2 (土) プログラムなし						
11/9 (土)	事前課題	演習の進行状況により別途指示あり		事前課題 演習の進行状況により別途指示あり		
	同期時間	オンライン演習 ●		同期時間 オンライン演習 ●		
		演習3 技能人材向けのコースデザイン 澤田 幸子、小谷昌彦、澤田 竜人、高馬 純子		演習4 技能人材向けのコースデザイン 澤田 幸子、小谷昌彦、澤田 竜人、高馬 純子		
11/16 (土) プログラムなし						
11/23 (土)	事前課題	演習の進行状況により別途指示あり		事前課題 演習の進行状況により別途指示あり		
	同期時間	オンライン演習 ●		同期時間 オンライン演習 ●		
		演習5 技能人材向けのコースデザイン 澤田 幸子、小谷昌彦、澤田 竜人、高馬 純子		演習6 技能人材向けのコースデザイン 澤田 幸子、小谷昌彦、澤田 竜人、高馬 純子		
11/30 (土)	事前課題	演習の進行状況により別途指示あり		事前課題 演習の進行状況により別途指示あり		
	同期時間	オンライン演習 ●		同期時間 オンライン演習 ●		
		演習7 技能人材向けのコースデザイン(発表) 澤田 幸子、小谷昌彦、澤田 竜人、高馬 純子		演習8 技能人材向けのコースデザイン(発表) 澤田 幸子、小谷昌彦、澤田 竜人、高馬 純子		
12/7 (土)	事前課題	別途指示あり				
	同期時間	オンライン講義 ●				
		講義26 研修の振り返り、ネットワークづくり 杉山 充				